



凡 例

輪郭構造

- 滑落量と側方量
 - 新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖
 - 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖
 - 冠頂が著しく開析された滑落崖
 - 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖
 - 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置
 - 共通の冠頂をもち、互いに反対方向に向く滑落崖
- 中・種別の流れ出すべり面が地中に露出し、滑落崖にあたる急崖を重しい斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。
- 後方量、多重線等

移動体の輪郭・境界

- 後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能
- 後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難
- 滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
- ほかの移動体や堆積物におおわれた部分
- 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
- 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

開部線・前制域下限

内部構造

- 二次・小滑落量、崖線の開析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
- サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭
- 移動体内の小尾根
- 幅の広い溝状凹地、亀裂
- 幅の狭い溝状凹地、亀裂

移動方向等

- 移動体の主移動方向。
 - すべり
 - クリープ(匍行)
 - 流れ・押出し
 - 落石など
 - 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
 - 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向
- その他
 - 選急線
 - 活断層(地すべりを定位置させている顕著な断層)
 - 地層面等および節理・断層の走向・傾斜

地形記号

- 雁行亀裂
- 線状窪地・小谷底線、一は谷の出口または谷底の傾斜方向
- 池
- 水のない窪地
- 膨脹地の前線

